

# プログラム 12月11日(土)

開会の辞

8:50~8:55

セッション1：一般演題 胎児循環器

8:55~9:45

座長 聖マリア病院 新生児科／久留米大学医学部 小児科学講座 前野泰樹  
東邦大学医療センター大森病院 新生児科 与田仁志

1-1 抗SS-A抗体陽性母体児の房室ブロックと心内膜弾性繊維化に対して、母胎ステロイド投与を行った症例

大阪母子医療センター 小児循環器科<sup>1)</sup>、大阪母子医療センター 産科<sup>2)</sup>

森 雅啓<sup>1)</sup>、石井陽一郎<sup>1)</sup>、藤井拓也<sup>1)</sup>、松尾久実代<sup>1)</sup>、浅田 大<sup>1)</sup>、青木寿明<sup>1)</sup>、高橋邦彦<sup>1)</sup>、  
笹原 淳<sup>2)</sup>、金川武司<sup>2)</sup>、石井桂介<sup>2)</sup>、萱谷 太<sup>1)</sup>

1-2 妊娠26週で胎児水腫を来した完全房室ブロックに対して胎児治療で妊娠延長を図り、娩出時期の決定に苦慮した一例

久留米大学病院 総合周産期母子医療センター 産婦人科<sup>1)</sup>、久留米大学病院 小児科学講座<sup>2)</sup>、  
久留米大学病院 外科学講座心臓血管外科部門<sup>3)</sup>

川上浩介<sup>1)</sup>、寺町陽三<sup>2)</sup>、木下正啓<sup>2)</sup>、柏田浩伸<sup>1)</sup>、池田裕一郎<sup>1)</sup>、堀之内崇士<sup>1)</sup>、庄嶋賢弘<sup>3)</sup>、  
前野泰樹<sup>2)</sup>、吉里俊幸<sup>1)</sup>、牛嶋公生<sup>1)</sup>

1-3 Short VA typeの胎児期頻拍発作において心室頻拍は鑑別できるか？

久留米大学医学部 小児科<sup>1)</sup>、聖マリア病院 新生児科<sup>2)</sup>、久留米大学医学部 産婦人科<sup>3)</sup>

寺町陽三<sup>1)</sup>、前野泰樹<sup>1)2)</sup>、堀之内崇士<sup>3)</sup>、吉里俊幸<sup>3)</sup>

1-4 母体の副作用により治療が難渋した胎児水腫合併胎児心房粗動の一例

東邦大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座<sup>1)</sup>、東邦大学医療センター大森病院 産婦人科<sup>2)</sup>

小瀧 曜<sup>1)</sup>、中田雅彦<sup>1)2)</sup>、島袋麻希子<sup>1)</sup>、佐久間淳也<sup>1)</sup>、鷹野真由実<sup>2)</sup>、長崎澄人<sup>2)</sup>、  
早田英二郎<sup>2)</sup>、森田峰人<sup>1)2)</sup>

1-5 Fetal HQを用いた新しい胎児心機能の評価の検討

岐阜県総合医療センター 胎児診療科・産科

小野ひとみ、高橋雄一郎、島岡竜一、岩垣重紀、今井紀昭、浅井一彦、松井雅子、手塚慶吾

座長 聖マリアンナ医科大学 小児外科 北川博昭  
 神奈川県立こども医療センター 新生児科 豊島勝昭

### 2-1 先天性横隔膜ヘルニアに対する胎児鏡下気管閉塞術の現状

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科<sup>1)</sup>、  
 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生命育成看護科学講座 母性胎児科学<sup>2)</sup>  
 和田誠司<sup>1)</sup>、室本 仁<sup>1)</sup>、杉林里佳<sup>1)</sup>、小澤克典<sup>1)</sup>、遠藤誠之<sup>2)</sup>、左合治彦<sup>1)</sup>

### 2-2 新生児3次元心エコー検査による先天性横隔膜ヘルニアの重症度評価

神奈川県立こども医療センター 新生児科  
 豊島勝昭、川滝元良

### 2-3 HIFUを用いた低侵襲的FETOバルーン除去に関する基礎的検討

昭和大学横浜市北部病院 産婦人科  
 イズデブスキ龍也、瀬尾晃平、市塚清健

### 2-4 先天性横隔膜ヘルニアへの胎児鏡下バルーン気管閉塞術施行後、バルーン閉塞解除における高密度焦点式超音波照射の応用

昭和大学医学部 外科学講座 小児外科学部門<sup>1)</sup>、昭和大学横浜市北部病院<sup>2)</sup>、昭和大学病院<sup>3)</sup>  
 安藤晋介<sup>1)2)</sup>、渡井 有<sup>1)3)</sup>

### 2-5 EXIT (ex utero intrapartum treatment) で救命した胎児巨大リンパ管腫

琉球大学 産婦人科  
 金城忠嗣、銘苅桂子、大木悠司、小崎三鶴、屋良奈七、金城淑乃、青木陽一

### 2-6 胎児期における発生過程を観察しえた膀胱腸裂の1例

近畿大学奈良病院 小児外科  
 中畠賢吾、木村浩基、山内勝治、石井智浩

### 2-7 当院における胎児診断・治療の現状と予後

昭和大学病院 外科学講座 小児外科部門  
 佐藤英章、渡井 有、中山智理、大澤俊亮、田山 愛、木村翔大

座長 聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター 産科 村越 毅  
 大分県立病院 佐藤昌司

### 3-1 Selective IUGR type3でレーザー治療適応とならず妊娠25週で両児死亡に至った一例

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 胎児診療科<sup>1)</sup>、  
 岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科<sup>2)</sup>、富山県立中央病院 産婦人科<sup>3)</sup>  
 杉林里佳<sup>1)</sup>、室本 仁<sup>1)</sup>、小澤克典<sup>1)</sup>、和田誠司<sup>1)</sup>、高橋雄一郎<sup>2)</sup>、炭谷崇義<sup>3)</sup>、左合治彦<sup>1)</sup>

- 3-2 胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術 (FLP) を受ける患者に対する術中看護 ～A施設での現状を知る～  
大阪母子医療センター 手術室  
田中 大、中島佳代、中村香里、炭本由香、石井桂介
- 3-3 胎児と無心体の位置関係によりFLPを選択した一絨毛膜三羊膜三胎タイプのTRAP sequenceの一例  
福岡市立こども病院  
副島周子、住江正大、佐藤麻衣、北代祐三、日高庸博、中並尚幸、月森清巳
- 3-4 TTTSに対するレーザー治療：困難症例に対する技術的工夫 前壁胎盤におけるinside trocar法、羊水混濁例に対するcontinuous irrigation法  
聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター 周産期科  
村越 毅、今野寛子

## ランチョンセミナー1

12:00～13:00

座長 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 左合治彦

胎児シャント(胸腔-羊水腔シャント術)本邦における市販後調査の総括

岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科/胎児治療学会事務局

高橋雄一郎

共催：株式会社八光

## 特別講演

13:15～14:15

座長 昭和大学江東豊洲病院 こどもセンター 小児外科 吉澤穰治

周産期医療を含めた新型コロナウイルスの感染対策

国際医療福祉大学医学部 感染症学講座/国際医療福祉大学成田病院 感染制御部

松本哲哉

## 特別企画 日本の胎児治療登録制度を考える

14:25～15:55

座長 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 左合治彦

SP-1 日本における胎児治療の実態調査

大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 母性胎児科学

遠藤誠之

SP-2 日本胎児治療グループのHPについて

国立成育医療研究センター 胎児診療科

和田誠司

SP-3 日本の胎児治療登録制度を考える～胸腔シャント術登録から学んだこと

岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科  
高橋雄一郎

SP-4 日本胎児治療学会をベースとした胎児治療登録制度の実現に向けて

大阪母子医療センター 産科  
石井桂介

セッション4：一般演題 胎児泌尿器

16:00～16:50

座長 宮城県立こども病院 泌尿器科 坂井清英  
埼玉医科大学総合医療センター 母体胎児部門 馬場一憲

4-1 胎児腎泌尿器疾患による羊水過少に対する羊水注入の有効性① ～下部尿路閉塞に対して38回の膀胱穿刺を行い腎機能を保護しえたが肺低形成のため新生児死亡となった一例～

福岡市立こども病院 産科<sup>1)</sup>、岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科<sup>2)</sup>  
小野ひとみ<sup>1)2)</sup>、住江正大<sup>1)</sup>、中野嵩大<sup>1)</sup>、原枝美子<sup>1)</sup>、北代祐三<sup>1)</sup>、中並尚幸<sup>1)</sup>、月森清巳<sup>1)</sup>、  
高橋雄一郎<sup>2)</sup>

4-2 胎児腎泌尿器疾患による羊水過少に対する羊水注入の有効性② ～両側多嚢胞性異形成腎による羊水過少に対して反復羊水注入を行うことにより救命できた一例～

岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科  
今井紀昭、高橋雄一郎、小野ひとみ、島岡竜一、松井雅子、浅井一彦、岩垣重紀

4-3 胎児下部尿路閉塞に対する胎児膀胱鏡の早期安全性試験の概要

大阪母子医療センター 産科<sup>1)</sup>、大阪母子医療センター 泌尿器科<sup>2)</sup>、  
国立成育医療研究センター 胎児診療科<sup>3)</sup>、国立成育医療研究センター 泌尿器科<sup>4)</sup>  
山本 亮<sup>1)</sup>、石井桂介<sup>1)</sup>、松井 太<sup>2)</sup>、和田誠司<sup>3)</sup>、室本 仁<sup>3)</sup>、杉林里佳<sup>3)</sup>、小澤克典<sup>3)</sup>、  
左合治彦<sup>3)</sup>、長谷川雄一<sup>4)</sup>

4-4 胎児期に尿膜管遺残を疑い周産期管理を施行した臍帯仮性嚢胞の1例

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター<sup>1)</sup>、  
埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科<sup>2)</sup>、埼玉医科大学総合医療センター 新生児科<sup>3)</sup>、  
埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵・小児外科<sup>4)</sup>、埼玉医科大学総合医療センター 病理科<sup>5)</sup>  
佐藤はづき<sup>1)</sup>、矢部慎一郎<sup>1)</sup>、江良澄子<sup>1)</sup>、杉山幸輝<sup>3)</sup>、牟田裕紀<sup>4)</sup>、小高明雄<sup>4)</sup>、井上成一朗<sup>4)</sup>、  
清水朋実<sup>5)</sup>、赤堀太一<sup>2)</sup>、松永茂剛<sup>2)</sup>、長井智則<sup>2)</sup>、齋藤正博<sup>1)</sup>、菊池昭彦<sup>1)</sup>、馬場一憲<sup>2)</sup>、  
高井 泰<sup>1)</sup>

4-5 先天性水腎症(腎盂尿管移行部通過障害)に対して胎児治療をおこなったTurner症候群女児の長期アウトカム

宮城県立こども病院 泌尿器科<sup>1)</sup>、宮城県立こども病院 産科<sup>2)</sup>  
坂井清英<sup>1)</sup>、武田詩奈子<sup>1)</sup>、久保田優花<sup>1)</sup>、城之前翼<sup>1)</sup>、相野谷慶子<sup>1)</sup>、室月 淳<sup>2)</sup>

幹事会(3F 山百合)

17:00～18:00

# プログラム 12月12日(日)

## セッション5：要望演題 脊髄髄膜瘤・二分脊椎

8:40~9:10

座長 岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科 高橋雄一郎  
大阪母子医療センター 産科 石井桂介

### 5-1 本邦における脊髄髄膜瘤子宮開放手術時の子宮切開方法の検討

大阪大学医学部附属病院 胎児診断治療センター

渡邊美穂、遠藤誠之、香川尚己、味村和哉、田附裕子、木村 正、奥山宏臣

### 5-2 脊髄髄膜瘤胎児手術の本邦への導入 経過報告1

大阪大学医学部 保健学科<sup>1)</sup>、大阪大学医学部 医学科<sup>2)</sup>、国立成育医療研究センター<sup>3)</sup>

遠藤誠之<sup>1)</sup>、渡邊美穂<sup>2)</sup>、奥山宏臣<sup>2)</sup>、香川尚己<sup>2)</sup>、味村和哉<sup>2)</sup>、左合治彦<sup>3)</sup>、和田誠司<sup>3)</sup>、  
萩原英樹<sup>3)</sup>、宇佐美憲一<sup>3)</sup>、佐藤正規<sup>3)</sup>

### 5-3 本邦における脊髄髄膜瘤胎児手術の治療経験：髄膜瘤閉鎖術について

大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科<sup>1)</sup>、大阪大学医学部附属病院 胎児診断治療センター<sup>2)</sup>、

大阪大学大学院医学系研究科 母性胎児科学<sup>3)</sup>、大阪大学大学院医学系研究科 産婦人科<sup>4)</sup>、

大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科<sup>5)</sup>、大阪大学大学院医学系研究科 小児科<sup>6)</sup>、

大阪大学医学部附属病院 整形外科<sup>7)</sup>

香川尚己<sup>1)2)</sup>、遠藤誠之<sup>2)3)4)</sup>、渡邊美穂<sup>2)5)</sup>、味村和哉<sup>2)4)</sup>、田附裕子<sup>2)5)</sup>、北島康司<sup>2)6)</sup>、

荒堀仁美<sup>2)6)</sup>、吉田清志<sup>2)7)</sup>、平山龍一<sup>1)2)</sup>、中川智義<sup>1)2)</sup>、貴島晴彦<sup>1)</sup>、奥山宏臣<sup>2)5)</sup>、木村 正<sup>2)4)</sup>

## セッション6：一般演題 羊水過多・過少

9:10~9:40

座長 岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科 高橋雄一郎  
大阪母子医療センター 産科 石井桂介

### 6-1 羊水過多症に対する羊水除去の合併症に関する検討

大阪母子医療センター

新谷万智子、山本 亮、川口晴菜、笹原 淳、林 周作、金川武司、石井桂介

### 6-2 羊水過少を伴う胎児発育不全に対して人工羊水注入を施行した一例

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科

佐久間淳也、中田雅彦、小瀧 曜、島袋麻希子、鷹野真由実、長崎澄人、早田英二郎、森田峰人

### 6-3 経腹的羊水注入を繰り返し妊娠期間の延長が可能であった早期発症重症胎児発育不全の1例

岐阜県総合医療センター 産科・胎児診療科<sup>1)</sup>、岐阜県総合医療センター 婦人科<sup>2)</sup>

岩垣重紀<sup>1)</sup>、高橋雄一郎<sup>1)</sup>、今井紀昭<sup>1)</sup>、浅井一彦<sup>1)</sup>、松井雅子<sup>1)</sup>、島岡竜一<sup>1)</sup>、小野ひとみ<sup>1)</sup>、  
青島友維<sup>1)</sup>、手塚慶吾<sup>1)</sup>、横山康宏<sup>2)</sup>

座長 埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 照井克生  
近畿大学医学部奈良病院 小児外科 米倉竹夫

7-1 MN式血液型不適合妊娠による胎児死亡を繰り返した抗M抗体陽性妊婦に対し血漿交換療法を施行し生児を得た一例

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科<sup>1)</sup>、東邦大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座<sup>2)</sup>  
島袋麻希子<sup>1)2)</sup>、中田雅彦<sup>1)2)</sup>、早田英二郎<sup>1)</sup>、小瀧 曜<sup>1)2)</sup>、佐久間淳也<sup>1)2)</sup>、鷹野真由実<sup>1)</sup>、  
長崎澄人<sup>1)</sup>、森田峰人<sup>1)2)</sup>

7-2 胎児尿管瘤による下部尿路閉塞に対する膀胱鏡下尿管瘤切開を行った一例

大阪母子医療センター 産科<sup>1)</sup>、大阪母子医療センター 泌尿器科<sup>2)</sup>  
山本 亮<sup>1)</sup>、山田拓馬<sup>1)</sup>、和形麻衣子<sup>1)</sup>、山本瑠美子<sup>1)</sup>、川口晴菜<sup>1)</sup>、笹原 淳<sup>1)</sup>、石井桂介<sup>1)</sup>、  
松井 太<sup>2)</sup>

7-3 重症大動脈弁狭窄症に対する超音波ガイド下胎児大動脈弁形成術の報告

国立成育医療研究センター 胎児診療科<sup>1)</sup>、国立成育医療研究センター 循環器科<sup>2)</sup>、  
山梨県立中央病院 産科<sup>3)</sup>  
小澤克典<sup>1)</sup>、室本 仁<sup>1)</sup>、杉林里佳<sup>1)</sup>、林 泰祐<sup>2)</sup>、須波 玲<sup>3)</sup>、和田誠司<sup>1)</sup>、小野 博<sup>2)</sup>、  
左合治彦<sup>1)</sup>

7-4 妊娠中期の胎児両側胸水に対して単回の胸腔穿刺で管理し得た一例

札幌医科大学附属病院 産科周産期科<sup>1)</sup>、札幌医科大学附属病院 麻酔科<sup>2)</sup>  
染谷真行<sup>1)</sup>、木井菜摘<sup>2)</sup>、君塚基修<sup>2)</sup>、坂井拓朗<sup>1)</sup>、石岡伸一<sup>1)</sup>、齋藤 豪<sup>1)</sup>

7-5 胎児胸腔羊水腔シャントチューブ留置術後疼痛管理にIV-PCAを使用した1例

埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科  
池田祐亮、網谷静香、金子恒樹、加藤 梓、松田祐典、照井克生

7-6 パルボウイルスB19感染による胎児水腫例に対し胎児輸血を施行した1例

慶應義塾大学医学部 産婦人科  
葉室明香、池ノ上学、春日義史、落合大吾、田中 守

座長 昭和大学江東豊洲病院 こどもセンター 小児外科 吉澤穰治

Writing an Effective Journal Article: Organization and More

Professor of Integrative Biosciences and of Humanities in Medicine Texas A&M University, USA  
Barbara Gastel

**ランチョンセミナー2****12:00～13:00**

座長 昭和大学江東豊洲病院 産婦人科 大槻克文

**超音波－胎児診断と胎児治療－**昭和大学横浜市北部病院 産婦人科  
市塚清健

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

**総会****13:15～13:30****セッション8：一般演題 多胎・双胎****13:35～14:25**座長 東邦大学医療センター大森病院 産婦人科 中田雅彦  
福岡市立こども病院 産科 日高庸博

- 8-1 双胎間輸血症候群に対してレーザー治療を施行後、双胎貧血多血症を発症し再度レーザー治療を施行した一例  
山口大学医学部 産科婦人科  
村田 晋、前川 亮、杉野法広
- 8-2 臍帯相互巻絡を認める一絨毛膜一羊膜双胎の一児死亡後に胎児鏡下臍帯切断術を施行した1例  
大阪母子医療センター 産科  
和形麻衣子、山本瑠美子、川口晴菜、山本 亮、林 周作、石井桂介
- 8-3 痕跡心臓を伴う無心体双胎の血流波形についての検討  
聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター  
今野寛子、村越 毅
- 8-4 双胎児間輸血症候群(TTTS)に対する胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー焼灼術(FLP)の術後に22週未満で破水した症例の周産期予後の検討  
東邦大学医療センター大森病院  
長崎澄人、島袋麻希子、小瀧 曜、佐久間淳也、鷹野真由実、中田雅彦、森田峰人
- 8-5 重症肺動脈狭窄から肺動脈閉鎖に至った双胎間輸血症候群受血児の2例  
東邦大学医療センター大森病院 新生児科<sup>1)</sup>、東邦大学医療センター大森病院 産婦人科<sup>2)</sup>  
緒方公平<sup>1)</sup>、荒井裕香<sup>1)</sup>、森谷菜央<sup>1)</sup>、日根幸太郎<sup>1)</sup>、斉藤敬子<sup>1)</sup>、水書教雄<sup>1)</sup>、鷹野真由実<sup>2)</sup>、  
長崎澄人<sup>2)</sup>、中田雅彦<sup>2)</sup>、与田仁志<sup>1)</sup>

**閉会の辞・次期会長挨拶****14:25～14:35**